

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
thanka alt のだ		2025年 11月 27日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容に応じて、適宜レイアウトを変更するなど、お子さまが集中しやすい環境設定を心がけています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		人員配置基準を上回る、児童10：指導員3の体制にすることで、お子さま同士の関わりを安心して見守ることができたり、個別での支援をしっかりと行うことができます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		事業所内は完全なバリアフリー化はなされておらず、適宜見直しを図っていく予定です。一方、写真や絵カードを適宜活用し、お子さまに分かりやすい構造化された環境を心がけています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃・消毒・換気は毎日実施をし、清潔な空間を保つよう心がけています。また、訓練室には空気清浄機を設置し、お子さまが心地よく過ごせるよう、環境設定しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		ブラダン製衝立を活用し、状況に応じて、個別活動やカームダウンの部屋に組み替えたりするなど、適宜訓練室のレイアウトを変更できる仕様になっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		利用者に向けたアンケートの実施により客観的な評価視点を加え、PDCAサイクルにより、業務改善・品質向上に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の意向や満足度の把握に努めるため、保護者向け評価表よりいただいたご意見に対し、適宜検討を行い、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		作業療法士、言語聴覚士、保育士等の専門的な資格をもつ指導員がおり、多角的な分析のもと、児童発達支援計画の作成を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		定期的にカンファレンスを行い、児童発達支援管理責任者、指導員間で、お子様の最善の利益を考慮した検討を行った上で、支援計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		言語・コミュニケーション発達スケール等を用いたアセスメントを行う他、定期的にカンファレンスを行い、こどもの適応行動の状況を確認し共有しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		集団プログラムは、前週より一週間ごとにチームで検討し立案しています。個別プログラムに関しては、支援記録を指導員間で共有し、実施前には前回の記録を踏まえ立案しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の保健センターと連携して支援を行っている他、併設の幼稚園・こども園間においても、頻繁に情報を共有し、連携して支援を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		他事業所との併行利用を通し、インクルージョン推進の観点から支援を行っています。また、併設の幼稚園・こども園間では、個別支援計画や活動の様子を頻繁に行い、相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		これまで依頼や要望がないため、情報を共有した実績がありません。適宜小学校や特別支援学校との間で、情報の共有と相互理解が図れるよう体制は整えています。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		現状、こども園や幼稚園と交流を図るなどの機会は設けていません。幼稚園・こども園併設のため、必要に応じ、適切な機会を設けることを検討します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		児童発達支援計画更新時に面談を実施したり、直接送迎に来られた保護者に対して当日のフィードバックしたりするなど、お話をする機会を設け、共通理解に努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		現在、thank a alt' の だ では、ペアレントトレーニングを実施していません。今後、ご家族からの要望にお応えできるよう体制を整えていく予定です。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		毎回、保護者から提出いただいたアンケートを基に、児童発達支援計画を作成しています。また、保護者から署名をいただく前に、原案を作成し、お子さまと保護者の意向に沿っているか、内容を確認いただいた上で、正式に署名をいただいています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		児童発達支援計画更新時に面談を実施したり、直接送迎に来られた保護者に対して当日のフィードバックしたりするなど、お話をする機会を設け、共通理解に努めています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現在、thanka alt のだ では、父母の会や保護者会等を開催していません。今後、利用者のニーズや状況に合わせて、適切な場を検討いたします。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagramにて、利用者が特定されないよう配慮した上で、日々の活動状況を発信しています。その他の通信等の発行に関しては、個人情報保護の観点から、発信を控えています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類を鍵付きキャビネットに保管しています。また、訓練室の通路側のドアには、遮光シートにて目隠しをする等の対策を講じています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ご家族の状況に応じ、電話連絡やステップ（LINE）、文書など、適宜使い分けて、保護者に伝達しています。また、お子さまに対しては、適宜視覚的なアプローチを取り入れ支援しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		個人情報保護や防犯の観点から、地域住民の招待等は実施していません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		各種マニュアルの策定はできていますが、職員やご家族等への周知するまでには至っていません。準備が整い次第、周知と訓練を実施する予定です。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの策定はできています。また、併設された幼稚園・こども園では、一か月に一度避難訓練を実施しています。館内アナウンスに従い、当事業所においても、訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	thanka alt のだ では、医師の指示書はいただいていません。お子さまのアレルギーの有無については、契約時ご家族にお聞きしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全計画を作成していますが、ご家族への周知はできていません。準備が整い次第、安全計画に基づく取組内容について、ご家族に周知していく予定です。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	現在、身体拘束を必要とするお子さまの利用がありません。他害自傷行為等が事前に想定できる子どもに関しては、児童発達支援計画に記載することとしています。	